

元気で良いお年を

歳末慰問

町では、ひとり暮らしや寝たきりのお年寄り、障害者や特定疾患患者の皆さんなどを対象に12月11日、歳末慰問を行いました。

齋藤町長、江原助役、浦野収入役、関係職員が4班に分かれ、町内280人のご自宅を訪問し、激励の言葉をかけました。

町長から「元気で良いお年をお迎えください」と声をかけられたお年寄りは「ありがとうございます」と笑顔でこたえていました。



齋藤町長から慰問品を受け取るお年寄り

一瞬の「ひらめき」を味わう

町民文化大学教養講座



感銘深い体験談を語るなかにしさん

町民文化大学教養講座が12月6日、ふるさと産業文化館で開かれ、作家のなかにしさんが「光への出発」をテーマに講演しました。

なかにしさんは、悲惨な少年時代の苦労話をはじめ、「知りたくないの」を作詞したとき天から降りてくる光のような「ひらめき」を味わったことなど感銘深い話を熱心に語りました。聴講生は「人間は10歳以下の育ち方で一生を左右されることを体験談で感じました」と話していました。

生の演奏にふれて

幼稚園クリスマスコンサート

12月19日明和幼稚園では、ヴァイオリンの長崎絢さんとピアノの清田陽子さんを招いてクリスマスコンサートを開催。園児たちが生の演奏にふれることにより、感性豊かに、また、遊びの幅が広がるように開かれました。

曲目は、となりのトトロやドラえもんなどの、大きな古時計、クリスマスソングなど14曲。演奏が始まると園児たちは「この歌知っている」と演奏に合わせて歌うなど、楽しいコンサートとなりました。



ヴァイオリン演奏を聴いている園児たち

本の楽しさを知って

クリスマスおはなし会



西小図書委員によるペープサート

12月25日、各小・中学校の図書委員をはじめ読み聞かせボランティアが参加し、クリスマスおはなし会をふるさと産業文化館で開きました。

このおはなし会は、子どもたちに「本の楽しさを知ってもらおう」という目的で開かれたもので、絵本の読み聞かせやペープサート、パネルシアター、エプロンシアターが行われました。

会場に訪れた約170人の子どもたちは、夢中になってお話を聞いていました。